

## 基礎編課題⑨

【名前】

一人称あるいは三人称あるいは三一混じり文で1200文字程度の文章を書きましょう。  
シチュエーション「路地裏で喧嘩をふっかけられる」

「お兄さん、一人？」

ふっと目の前が陰り、スマホから視線を上げる。見るとガタイの良い男が二人いた。筋肉質、チャライピアス、煙草で黄色くなった歯。なるほど、良い印象はない。

「何の用ですか？」

輝は敢えて刺激しないよう、にこやかに話しかける。拒否すればその分、相手は調子にのって面倒くさいことになるから。

「いや、こんな路地裏に一人て」

「路地裏？」

辺りをきよろきよろと見渡す。ビル壁に挟まれた狭い道に、下品なスプレーアートが書かれる。ようやく輝は自分が迷子だと気づいた。

「あれまあ、ボクが迷子ですか」

「まい……？ いや、そんなことどうでもいいんだわ。はい」

一人の男が手を差し出す。その意味が分からず、輝は首を傾げた。

「手になにかあるんですか？」

「いや、わっかんねーの？ 通行料だよ」

「俺らの縄張りに入ったのはアンタだからね？」

縄張り、と言われて輝は純粹に疑問を浮かべた。

いつからここは野生動物のたまり場になったのだろうか。強さをさらけ出し、大した大義も正義もないまま群れる、この男たちは何なのだろう。

ふむ、と輝は少し考える。

のしてしまうことは楽勝なんですけどね。けれどそれではパートナーに怒られてしまう。はてさてどうしたものか。

「なに黙ってんだよ」

痺れを切らした男が輝の胸倉をつかみ、低く唸る。犬歯をわざと見せているようだが、加工されたまがい物の犬歯など怖くもない。

コメントの追加 [na3]: 縄張りに対する「野生動物」の表現は馬鹿にしつつも適切で良いです。

コメントの追加 [na1]: 中途半端に切れているように見えます。「そっちこそこんな路地裏に一人で何の用だ？」とまで入れましょう。

コメントの追加 [na2]: ずっとスマホを見ていて周囲を確認していなかったということでしょうか？ 状況が読者に伝わるように描写を補強したいです。

コメントの追加 [na4]: 輝の表情でしょうか？ ややわかりにくいので主語を入れましょう。

コメントの追加 [na5]: この主語はなくても誰の行動かわかりますので、省略しましょう。

コメントの追加 [na6]: 心の声だけになっているので描写の補足があると良いです。または男の反応を書いてもいいでしょう。

そう思うとなぜかイラっとした。ただ単純に気に喰わない。

「はーーーーー……」

「あ？」

**表情は笑顔**。それはもう不気味に見えるくらい。そして、輝は差し出された手を握る。主に人差し指を。

そして、何の躊躇もなく**輝は指をねじって折った**。

「ッあ、だあああああああ！」

悲痛な叫び声をあげ、男が青紫色に変わっていく指を抑えて倒れる。隣にいた男は何が起こったのか分からないといった表情だ。

「面倒くさいんですよ。そういうの」

「お前、何をして！」

「あーーーーー、うるさいです。殺しますよ。てか殺されたいんですか？」

光が入らない濁った瞳で睨んでやれば、残った男はすぐさま黙る。

こんな簡単なことで引いてくれるなら、すぐにやればよかった。

「ニホンで人殺しはダメだから、もめ事は起こしたくなかったんですが、このくらいなら良いですよね」

輝はスマホを起動させ、途中だったアプリゲームを再開させる。倒れている男はまたぎ、先へと進んだ。

「待てよ！ まだ話は」

「終わりましたよ。貴方がたは殺されなかった。ボクは道を通る。それでいいじゃないですか」

それとも、と輝は男の方を見た。

「マジで殺しますよ」

中々、この国は面倒くさい。